



Nihongo Network News

2001.5.11発行

総会特別号

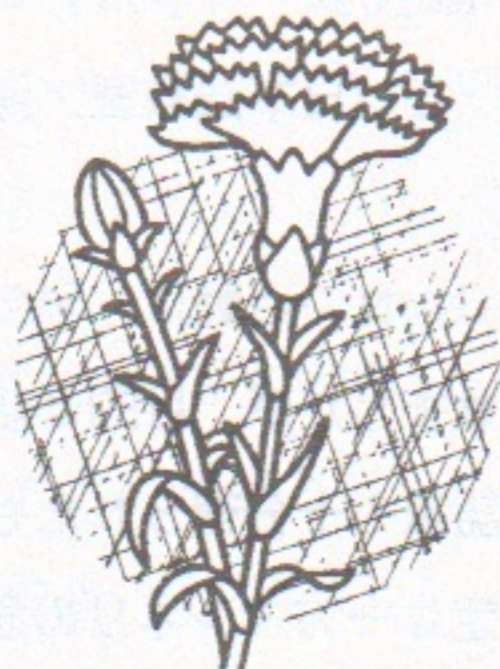
TNVN 東京日本語ボランティア・ネットワーク

第8回 総会 報告

2001年4月14日(土)午後1時より、東京ボランティア・市民活動センター会議室においてTNVN第8回総会が開催されました。今回はTNVNの正会員(団体会員)50団体の出席(委任状出席35団体を含む)により、総会がスタート。活動報告及び会計報告に続き、新体制のもとでの2001年度の活動計画及び予算が承認されました。(ニュースレター1ページの記事をご参照ください)

- 1 開会のことば
- 2 あいさつ
- 3 議長の選出
- 4 議事録署名人の指名
- 5 議事 ①2000年度 活動報告/会計報告/監査報告
②次期役員の選出
③2001年度 活動計画/予算案
- 6 事務局スタッフの紹介
- 7 閉会のことば
- 8 講演 「留学生との出会い」
東京大学留学生センター 栖原 暁 教授
- 9 懇親会

*2000年度活動報告・会計報告、2001年度予算案など、議事の詳細については、正会員のみなさまにはすでに資料を送付しておりますので、そちらををご参照ください。



TNVN 2001年度 新役員のご紹介

2001年度のTNVN新役員には下記の方々を選出されました。

- 代表 大原 徹夫
(まちだ地域国際交流協会/町田市:新任)
- 副代表 梶村 勝利
(早稲田奉仕園日本語ボランティアの会/新宿区:継続)
- 副代表 林川 玲子
(ビバ日本語教室/港区:新任)
- 事務局長 甲斐 武子
(ともだち/足立区:継続)
- 会計 山縣 みつる
(協力会員:継続)
- 監査 藤田 義雄
(OCNet/大田区:継続)

*この度、長年にわたりTNVN代表を勤められた中田紀子さんが退かれ、新代表として大原徹夫さんが就かれました。TNVNの発展に尽力をつくされた中田さんの労をねぎらい、心から感謝の言葉を贈りたいと思います。

新役員からのメッセージ

新世紀にTNVNが発信すべきもの

代表 大原 徹夫

(まちだ地域国際交流協会/町田市)

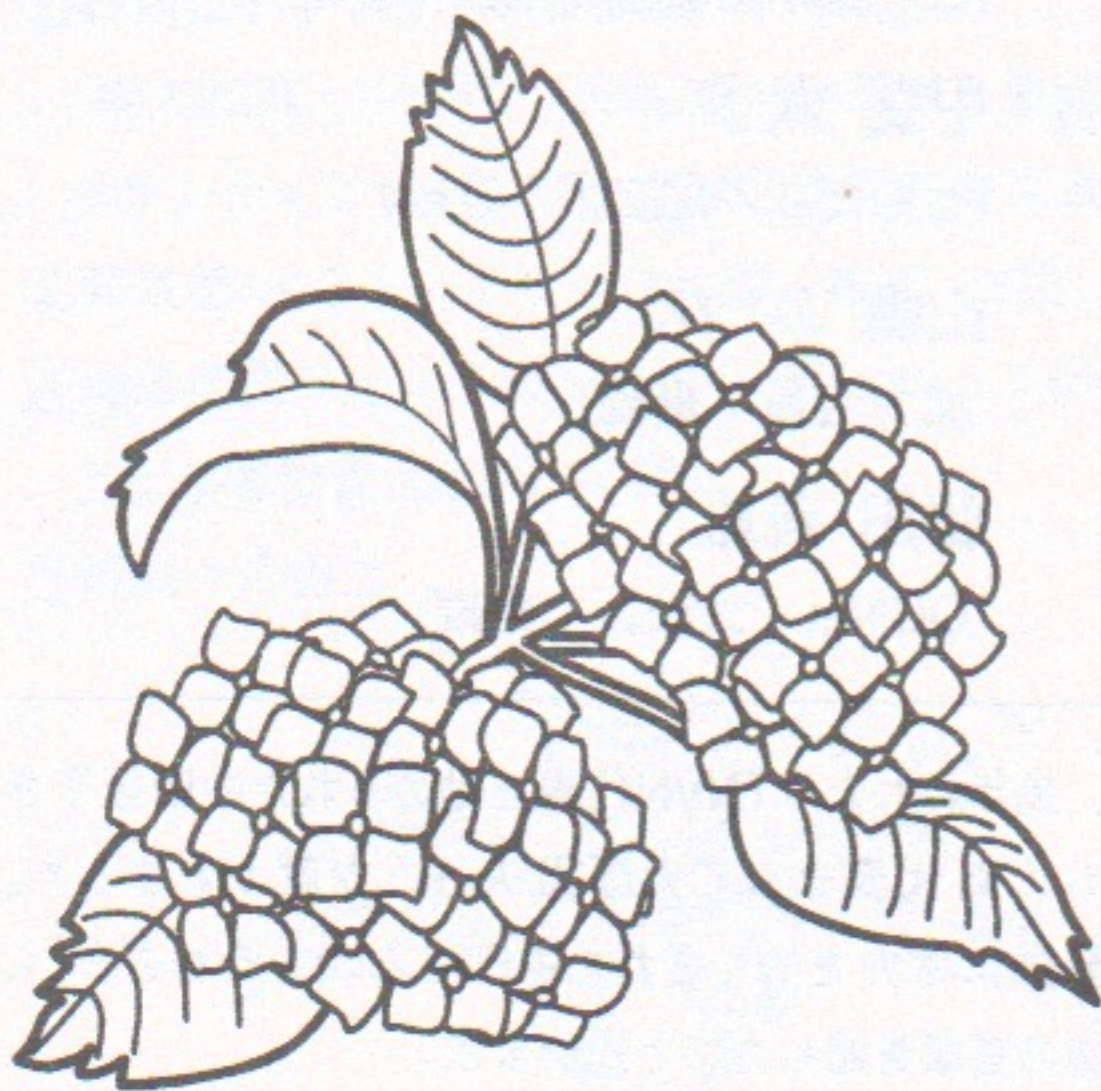
TNVNは発足以来、今年で8年目を迎えます。

今回はからずも中田紀子さんの後を受け、代表をお引き受けすることになりました。

TNVNにおける私の活動経験は、それほど永くはありません。したがって代表をお引き受けするにあたって、役員全員に留任していただきました。

役員及び運営委員の方々は、それぞれ地区における活動もあり、また家庭の仕事もあって、TNVNの仕事を手伝うことはたいへんであることは重々承知しておりますが、今年は西暦2001年、21世紀に足を踏み入れたたいへん記念すべき年でありますので、あえて留任をお願いいたしました。

TNVNは過去8年の実績を基盤として、21世紀に向けて何を発信して行くべきか、皆様のご協力をいただきながら考えてゆきたいと思えます。よろしくご支援の程お願いいたします。



積極的な情報交換と交流を

副代表 梶村 勝利

(早稲田奉仕園日本語ボランティアの会/新宿区)

大原徹夫氏が新しいTNVN代表として選任されました。今回は再任・復任の役員で構成され、私も三度目の副代表を勤めることとなりました。昨年度は限られたスタッフでTNVNの事務・運営が進められてきましたが、本年度も同じメンバーを中心にスタートします。新しい発想のもとで新時代の社会環境に柔軟に対応できるTNVNを目指して頑張るつもりですが、そのためには事務局スタッフや運営委員会へ多くの新しい方々の参加を強く望みます。TNVN会員皆様の絶大なご協力をお願いします。

日本語の学習や支援を求める外国人にボランティアとしてどう対応して行ったらよいのか、そのためのネットワークはどうあるべきか、日常のボランティア活動を通して考えてみます。会員の方々と情報交換・交流も欠かせません。このような機会を作って行きたいとも考えていますので、積極的なご協力をお願いします。

TNVNに新しい風を

副代表 林川 玲子

(ビバ日本語教室/港区)

TNVNの活動は、早9年目に突入。発足当初の熱気は薄れましたが、目的は着実に達成し、活動の安定と社会の認識も十分得られたものと思われまます。しかしながら、安定は一方マンネリの危険をも伴い、事務局スタッフの目的意識も揺らぎがちとなります。とにかく「役に立っ

ている」「必要とされている」と信ずることで支えられ、繋ぎとめられているボランティアだけで動かしている活動の脆さ、難しさをいかに克服するかが、これからの課題だと思います。TNVNに新しい風を呼び込もうと、また懲りずに登場しました。

情報交換の場としての TNVN

事務局長 甲斐 武子

(日本語ボランティアともだち/足立区)

毎週金曜日に活動が行われているTNVN事務局には、日本語ボランティアをしたい方々からの問い合わせや相談が多数届いていますが、そのたびにこれから活動を始めたい方々にとっての大事な相談窓口になっている事を実感します。

そのような方々への入門講習会も定着してきました。

3月に行った日本語ボランティア・フォローアップ講習会の折に行ったアンケートによりますと、情報交換の場としてTNVNは必要であるとの回答が多数寄せられました。

事務局としてその期待に応えるべく努力していきたいと思っています。

けれども、そのようなご期待に応えるには、現在の事務局は人手不足です。

TNVNの活動をより発展させるために、皆様方のますますのご協力を心からお願いいたします。

事務局運営にご協力を

会計 山縣 みつる

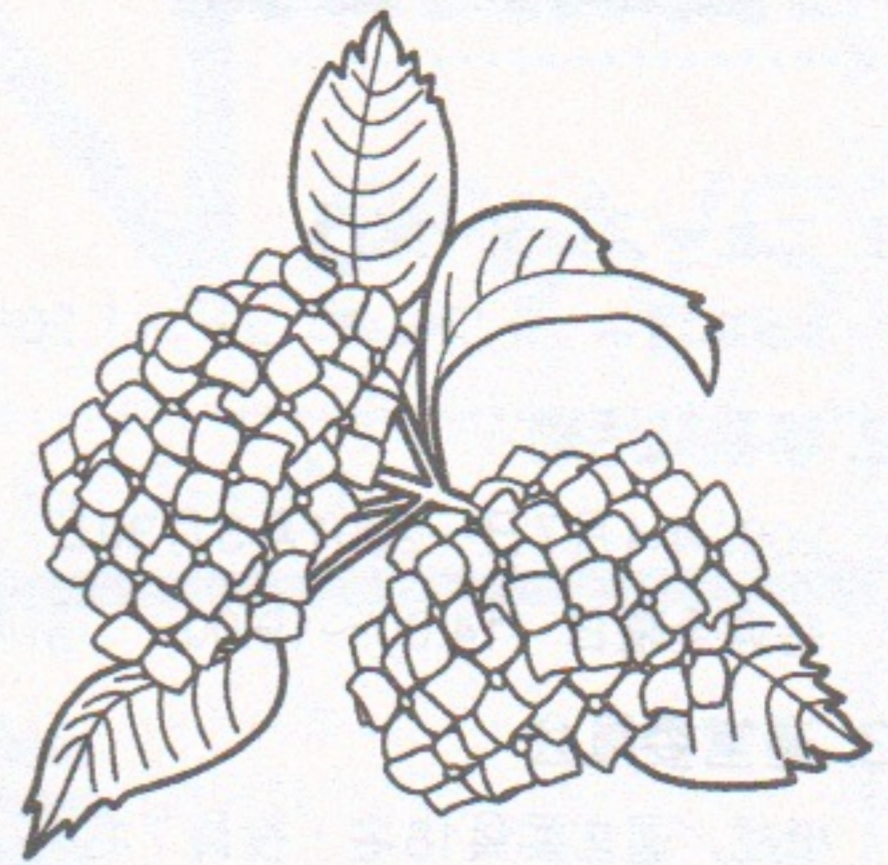
(協力会員)

去年に引き続き、また今年度も会計をさせていただきます。実はTNVN規約では2名が会計担当となっていますのに、今年度は1名しか候補者がいませんでした。

そこで、どなたか会計として立候補してくださるよう、

よろしくお願いいたします。

会員の皆様のご協力を得られなければ、事務局運営も危機的状態です。お待ちしております。



「継続は力なり」も 「休み休み言え」ということ

監査 藤田 義雄

(OCNet/大田区)

東京日本語ボランティア・ネットワークが正式名称である。

よく人から「TNVNって何？」と訊かれるたびに、早口言葉に長けたことを自慢するように、「トウキョウニホンゴボランティアネットワーク」とまくしたてて悦に入っていたのは、参加しはじめて2年目のころだった。

そして、監査を担当しているが、元来数字の苦手な上に生来のルーズさに拍車がかかって、年に一度のお勤めもあぶなっかしく、かろうじて会計の方の勤勉さに助けられて、たしか4年目を迎えるのでは。

だが、年数ばかりで、運営委員会も休みがちで、年に3、4回しか出席していないのが現状。役員とか運営委員とかに関係なく、個人としてお寒い係わり方というしかない。こんな薄っぺらな背景の役員でよいはずはないのだが。

さて、ネットワーク会員の皆様、余計なお世話かも知れませんが、こんな役員は駆逐すべく立ち上がりましょう。そして、毎月の運営委員会に参加して声を上げてください。署名運動でも電話攻勢でもかまいません(市民活動センターが嫌がるくらいに)。とりあえず、それに対応すべく《本人》は可能な限り出席し(たいと思)いますので。お待ちしております。

TNVN 2000年度 活動報告

1. ニュースレター発行
「日本語ネットワークニュース」26号～30号
2. 事務局活動
2000年4月7日～2001年3月30日
毎週金曜日（14:00～19:00）計47回
3. 運営委員会
構成／運営委員18名・役員7名
毎月第3金曜日（18:00～20:00）計10回実施
*内臨時運営委員会 1回（3月2日）
4. 情報交換会
奇数月第3金曜日（18:00～20:00）
計1回実施（10/20 休会決定）
5. 入門講習会
毎月第2金曜日（14:00～16:00）
第4金曜日（18:00～20:00）
計 24回開催
6. 日本語学習支援研究会
実施せず
7. 生活支援研究会
実施せず
8. 「教室ガイド」制作プロジェクト
2000年6月完成 発送作業開始
9. その他
 - ①日本語ボランティア教室のための教材作成
プロジェクト（凍結中）
 - ②日本語ボランティア講習会への協力
（東大和市・羽村市・田無市・JAFSA・勤労者
ボランティアセンター・文京区国際友好交流協会）
 - ③東京都NPOネットワーク会議に参加（3回）
 - ④地球市民フェスタ参加（2001年2月3・4日開催）
上記準備委員会出席（6回）
 - ⑤取材への協力



TNVN 2001年度 活動計画

1. ニュースレター発行（隔月発行）
「日本語ネットワークニュース」31号～36号
2. 事務局活動
毎週金曜日（14:00～19:00）
*12/28・1/4を除く
東京ボランティア・市民活動センター会議室にて
3. 運営委員会
毎月第3金曜日（18:00～20:00）12回開催
4. 入門講習会
従来通り、毎月2回実施
5. 日本語学習支援研究会
6. 生活支援研究会
7. その他
 - ①日本語ボランティア教室のための教材作成
プロジェクト（アルク）
 - ②各種講習会：日本語ボランティア出前講習会
日本語ボランティア・フォローアップ講習会



TNVN事務局スタッフ

上野悦子、岡田美奈子、小川伶子、甲斐武子
梶村勝利、床呂英一、林川玲子、藤橋帥子
前田恭子、三村敏子、山縣みつる、山本敬子
（大滝敦史）（鶴田環恵）

*（ ）内は在宅ボランティア